



<https://www.ariake.kaetsu.ac.jp/>

2026年度入試 イベント案内

■ 中学説明会 (オンライン)

5月17日(土) 10:00~11:30 6月14日(土) 10:00~11:30
9月6日(土) 10:00~11:30

■ 部活動体験会

10月11日(土) 9:00~15:00

■ 入試説明会 (オンライン)

11月1日(土) 10:00~11:30
2026年1月10日(土) 10:00~11:30

■ 入試体験会 [本番の雰囲気を実施]

12月6日(土) 8:30~11:00 ■6年生対象

■ 帰国生対象 学校説明会 (オンライン)

6月7日(土) 14:00~15:30 7月12日(土) 10:00~11:30
9月27日(土) 10:00~11:30 10月18日(土) 14:00~15:30

体育祭

5月31日(土) 8:15~11:30 13:10~16:50

文化祭

9月20日(土) 10:00~15:00 9月21日(日) 10:00~15:00

KAETSU ARIAKE

SCHOOL CONCEPT BOOK 2026

KAETSU ARIAKE



 かえつ有明中・高等学校

〒135-8711 東京都江東区東雲2-16-1

TEL:03-5564-2161 FAX:03-5564-2162

E-MAIL: kikitai@ariake.kaetsu.ac.jp



 かえつ有明中・高等学校

SCHOOL CONCEPT BOOK 2026



「違う」ところは、



「強い」ところ



芯を育む、自由がある、 安心がある。

一人ひとりの自分軸を確立するために、
お互いに尊重される自由で安心感のある学びの場を、
生徒・保護者・教職員、共に作っていきます。
世の中の変化をおそれることなく、自分らしく生き、
新しい価値観を創造できる人間へと
成長するための6年間です。
次の3つのキーワードから、
かえつ有明の学びは進化していきます。

DIVERSITY 05

多様性が尊重される安心安全の場

周囲の視線や批判をおそれることなく、他人も否定することなく、ありのままの自分を表現できる学びの場です。お互いを理解して協働できる人間関係を築くスキルを身につけます。

DEEP LEARNING 07

アクティブラーニングのその先へ

教員の一方的な指導で受け身になるのではなく、生徒一人ひとりが知的好奇心を持ち、学び方そのものに自覚的になり、主体的に深く学び続けるあり方にこだわっています。

GLOBAL 11

4人に1人が帰国生という環境

様々なバックグラウンドを持った生徒が集まっています。インターコースのように、クラスを分け隔てることなく、学校生活自体が日常的に異文化と触れ合えるグローバルな体験です。

教育理念

PHILOSOPHY

生徒一人ひとりが持つ個性と才能を生かして、
より良い世界を創り出すために
主体的に行動できる人間へと成長できる基盤の育成



CONTENTS

校長メッセージ	04	進路・進学	17
DIVERSITY	05	6年間のキャリア教育／大学合格情報／卒業生からのメッセージ	
安心安全の関係性			
DEEP LEARNING	07	スクールライフ	23
サイエンス科／スパイダーウェブディスカッション／セルフラーニングセンター		かえつ生の1日／学校行事／部活動紹介／施設紹介／制服紹介	
GLOBAL	11	インフォメーション	33
英語教育／国際交流プログラム／留学プログラム／海外大学進学サポート		安心・安全対策／交通案内／よくある質問／入試情報	

Message from the

PRINCIPAL



2025年、かえつ有明は有明の地に移転して20周年を迎えます。

この20年間、「経験と対話を通じて豊かな人間性を育む」ということを大切に、生徒一人ひとりの成長を支える環境づくりに努めてきました。今年度も、その精神をさらに深化させ、より良い教育を教職員一丸となって提供していきます。

未来を創る学びへ—「学び方を学ぶ」「自分軸を確立する」「共に生きる」=「繋がるチカラ」

かえつ有明では、知識を得るだけでなく、自ら問いを立て、考え、行動する「主体的に学ぶ」を大切にしています。その言動は、決して一人では完結しません。他者と意見を交わし、対話を重ねることで、自分の考えを深め、新たな視点を得ることが出来ます。この「繋がるチカラ」こそ、未来の社会を生きる上で不可欠な力です。

今年度も、生徒が安心して対話し、主体的に学び、挑戦できる環境をさらに充実させていきます。そのために、新たな取り組みとして「ウェルネスセンター」の機能を強化し、思春期の心と身体の成長を支えるサポートを一層充

実させます。また、「セルフラーニングセンター」では、生徒一人ひとりが自らの学習習慣を確立し、主体的に学ぶ力を育めるような環境を整えていきます。

未来への挑戦—「学び続ける学校」へ

これからの時代は、変化が激しく、正解のない問いに向き合うことが求められます。そのために、学校もまた、変わり続け、学び続ける場でなければなりません。かえつ有明の教員もまた、生徒とともに学び、成長し続けることを大切にしています。

この一年、生徒の皆さんには、自分の興味関心を広げ、多くのことに挑戦してほしいと思います。成功だけでなく、失敗や試行錯誤の中にも大きな学びがあります。私たちは、皆さんが挑戦できる環境を整え、全力で応援します。

20周年を迎えたかえつ有明は、これからの未来を創る学校として、さらに進化していきます。皆さんとともに、この学校をより豊かな学びの場へと育てていけることを楽しみにしています。

これからも、共に学び、共に挑戦し、共に成長していきましょう！

校長 小島 貴子

安心安全の関係性

キーワード 多様性の中で「自分」を素直に表現できる場作り

01



■ 安心安全の学びの場とは

4人に1人の割合を占める帰国生（国際生）は、本校の多様性をかたちづくる大きな存在です。多彩な文化を経験してきた彼らは、日本で生まれ育った生徒たちに、異なる価値観や物の見方、そして世界の広さを教えてくれます。一方で、同じ日本で育ってきた同級生同士であっても、価値観の違いを感じることがあります。

安心安全の場づくりは、自身の中にとらわれがあることの自覚から始まります。自覚ができてはじめて選択ができるのです。ただし、選択には勇気が必要です。過去の傷ついた自分が躍起になって、自分らしい振る舞いへの選択を止めようとしません。その時に助けてくれるのが、仲間の存在です。恐る恐る出した言葉を否定せずに受け止めてくれる存在が、過去につくられた恐れや不安を拭いてくれるのです。

本校では多様な価値観を持った仲間と共に対話したり、協働して探究したりする場面が数多くあります。その際に大切にされるのは、自身の考えや想いを率直に伝えることと、相手の存在に関心を持って話を聴くことです。それによって、安心安全の場がもたらすあたたかなエネルギーに支えられた対話や協働の場がつけられると考えています。

02



■ 共感的コミュニケーションのトレーニング

話すことが苦手な話し手であっても、聴き手のあり方によっては、自分でも驚くほど話ができるようになります。目指す聴き方は「ただ聴く」です。私たちは人の話を聞いているときに、評価や判断をしながら聞きがちです。一方、ここで言う「ただ聴く」とは自分が持っているバイアスに気づき、それを脇に置いて、目の前で話している人の存在に意識を向けて聴くということです。

共感的コミュニケーションのトレーニングで最も有効なのは、誰かに自分の想いを受け取ってもらおうという経験そのものです。小さな悩みであっても、ただ聴いてくれる存在がいることで安心を感じることができます。そんな些細な経験の積み重ねが、自身の内面に眠っていた感情や想いに気づきやすくさせ、勇気を持って本音で語れるようになり、そして、真摯に誰かの話に耳を傾けられるようになっていくのです。

人は自分の感情や大切にしている想いに無自覚なまま、他者を傷つけるような言葉を発しがちです。しかし、誰かの言葉に真摯に耳を傾けているうちに、相手の中にも大切にしている想いや感情があるということに気づくようになっていき、相手の背景にも思いを寄せたコミュニケーションが図れるようになっていきます。

03



■ 教師自身のマインドフルネス

教師自身がマインドフルなあり方であることが生徒たちの心の安定と伸びやかな成長につながります。多感な思春期の生徒たちに真に寄り添うために、自分の内面にも意識を向け、整った状態で生徒と向き合う姿勢を大切にしています。

生徒にとって教師の影響力は大きく、関わり方ひとつで生徒の行動を制限してしまう可能性があります。それは言葉だけでなく、何気ない振る舞いひとつでも同様です。学級運営で大切なのは「教師は生徒を指導する立場」という概念を手放し、共に生きる仲間として尊重し合う関係性を築くことです。教師自身が自分を見つめ、心を整えながら、安心安全な教育の場をかたちづいています。

さまざまな教員研修



思考力を育む授業の実現のために、教員自身も研修が必要です。スパイダー討論やパターンランゲージなど、サイエンス科で導入するコミュニケーション方法は、教員も体験する方法論です。

学校外の人々とのコミュニケーション



卒業生や様々な分野で活躍する社会人を招いての授業展開が日常的に行われ、生徒それぞれの知的好奇心を刺激し、本格的な探究活動へと誘っています。サイエンスやプロジェクトなど、校外での学びにも積極的です。

ウェルネスセンター

2025年より保健室とカウンセリングルームを統合して、新たに「ウェルネスセンター」として生まれ変わります。かえつ有明では、「心と身体の健康が、豊かな学びと成長の土台である」と考えています。思春期の6年間は、心身ともに大きく変化する時期。自分自身や人間関係、将来について悩むこともあるでしょう。そんなときに、いつでも安心して相談できる場として、ウェルネスセンターを設立します。

ここでは、養護教諭やカウンセラーに加え、精神科医の齋藤環先生（オープンダイアローグの専門家）が参画し、より開かれた対話を通じて生徒の心のケアをサポートします。体調不良時のケアだけでなく、ストレスマネジメントやメンタルヘルスの支援、対話を通じた問題解決など、総合的に生徒の健康を支える新しい拠点となります。

「ウェルネスセンター」は、生徒が自分らしく充実した学校生活を送れるよう、そばで見守り寄り添い続ける場所です。安心して立ち寄り、より良い未来へ向かう一歩を踏み出してください。

MESSAGE

一人ひとりの輝きを大切にするために

かえつ有明は、多様なものが存在し、関わり合い、日々新しいものが生み出されていく「創発の場」です。未来をつくる存在としての生徒をリスペクトし、一緒に考え、受け入れ、見守り、そして共に成長していく、そんな教師が集まっています。

生徒は他者との深い対話を通して、かけがえのない自分自身の存在に気づき、自分のペースで未知の世界に続く自分だけの扉を見つけていきます。生徒の内なる灯を信じて見守る教師と、それぞれの輝きを放ちながら伸びやかに学ぶ生徒が、響き合って創り出すやわらかなハーモニーが校舎の中を豊かに満たしています。



副校長 佐野 和之

サイエンス科

キーワード 「学ぶ」「考える」「探究する」土壌を耕す

サイエンス科のコアカリキュラム

学び方を学ぶ

- 情報メディアの特性や収集の方法を学び、そのスキルを獲得する。
- 情報を整理分析し、他者に伝えるスキルを獲得する。

+

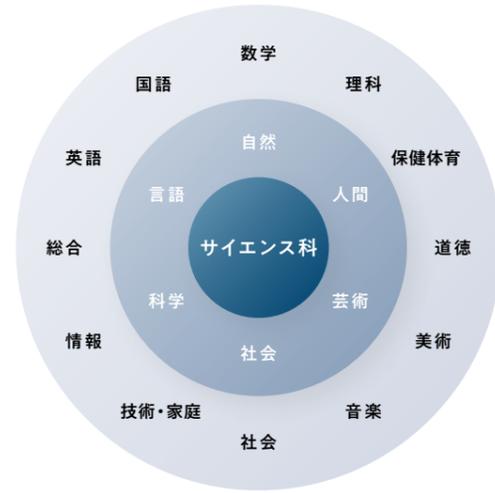
自分軸を確立する

- 自分の考えや意見を論理的にまとめ、他者に伝える。
- 振り返りを行い、新たな疑問を発見して学ぶ原動力にする。

+

共に生きる

- 互いの意見に耳を傾けられる安心・安全な場を作る。
- 多様な価値観を認めあい、対話し、協働し、課題の解決を図る。
- 自然・社会・世界と自分とのつながりを見出して理解する。



かえつ有明の学びの中心・土台となる授業です。
(中学生 週3時間)

サイエンス科の位置づけ

学んだり、探究したり、考えるために必要なスキル・マインドを学ぶ



サイエンス科



「考え、議論する道徳」に、Social Emotional (Ethical) Learning (社会性と情動の学習) の要素を取り入れた「かえつ有明の道徳」を基盤にしています。

中1 [Who am I? / 自己を中心に]	中2 [How do I relate with others? / 他者を中心に]	中3 [What will I contribute in the real world? / 世界を中心に]
チームビルディング・プロジェクトアドベンチャー・居心地の良い集団作り		
<ul style="list-style-type: none"> ■自分の感情に気づく ■ペアインタビュー (少人数で取り組むようなワークを中心に) ■マインドフルネス ■身体的なワーク ■体的な道徳のトピックを扱う (小さいディスカッション⇒スパイダー討論へ) 	<ul style="list-style-type: none"> ■スパイダー討論 ■より抽象度の高い道徳のトピックを扱う 	<ul style="list-style-type: none"> ■哲学対話 ■システム思考 (つながりを意識するワークを中心に) ■世界・自然など道徳の中でも抽象度が高いトピックを扱う
週3時間のうち1時間が道徳		
マインストーリー、価値観ワーク、人生曲線など、ここまでの歩みを振り返る時間		
<ul style="list-style-type: none"> ■ここにおいて安心安全 ■身体と心の健全な状態を意識できるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ■他者と関わることができる ■つながりや所属の感覚がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■自分はそのままで価値がある存在 ⇒他者貢献・自己探求へ

「サイエンス」を日本語に訳すと「科学」ですが、広義では「体系化された知識や経験の総称」を意味します。色々な知識を身につけたり、探究をしたり、深く考えたりするためにはその土台となるスキルやマインドを個人で身につけたり、仲間と安心安全な環境をつくったりすることがとても大切です。「サイエンス」の授業は全ての授業をワークショップ形式で実施します。SEL (社会性と情動の学習) に基づいたPBL (プロジェクトベースドラーニング) 型で授業は展開されます。

サイエンス科の多彩なProject

サイエンス科の取り組みを通じて、研究テーマの選び方や情報収集の仕方、議論の方法などを身に着けます。そのスキルを使って、各学年が成長段階に応じた探究活動を行います。学期ごとに、3つ程度のプロジェクトを扱います。

中1 東京臨海地区のリーフレットを制作する

フィールドワークをもとに、ペルソナを設定して独自のリーフレットを制作します。

中2 海外からの旅行者向けの旅行企画を提案する

春の鎌倉自主研修をもとにプレゼンテーションして、秋の関西研修旅行につなげます。

中3 越境プロジェクトで新しい自分と出会う

今までチャレンジできなかったことに挑み、そこで見てきたものを共有し合います。

その他の取り組みテーマの例

- ドルフィンオリエンテーション/ペアインタビュー/OBENTOプロジェクト/価値観ワーク/ホワイトボードミーティング/木育/人生ゲーム制作/未来の仕事を考える/職業インタビュー
- Being/ドミノチャレンジ/デジタルエチケット/コミュニケーションカードゲーム/関西研修旅行動画/新聞制作/アイデア出しの手法/体験のアウトプットの手法/デザイン思考
- 新書・絵本回転寿司/ほのぼの読書/自分探しプロジェクト/袋の中身は何?/コンセンサスゲーム/質問の技/哲学対話/スパイダーウェブディスカッション/システム思考

学びのステップ

さまざまな「プロジェクト」で、このステップをくり返します



スパイダーウェブディスカッション

キーワード **協働して問題解決を行うための方法を学ぶ**

問題を解決しようとするとき、特定の人の意見が通っては、他者と共に問題解決を行う「協働」とは言えません。本校で行う「議論」は、多様性を持つ集団の中で自分の特性を見出し、自分が貢献できることに気づくための場です。これは議論を得意にするための方法論ではなく、主体的・対話的に学ぶためのトレーニングです。

スパイダー討論の流れ



STEP 01 場を整える

数人のサークルを作る。ルーブリックを決める。議論を客観的に観察する「エキスパート」を決める。



STEP 02 議論開始

エキスパートは、誰が発言したのかを順に、線をつなげていく。「クモの巣図」作り。



STEP 03 振り返り

自分たちで議論を振り返る。評価基準はルーブリック。



STEP 04 フィードバック

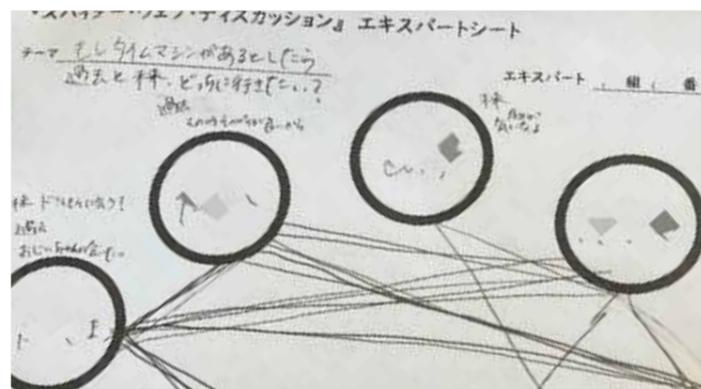
エキスパートがフィードバックを行い、描かれた「クモの巣図」の偏りを見ながら、再び振り返る。

深い対話をするためのルーブリック

- 全員が平等にテーマを意識して参加した。
- 一度に話す人はひとりで、良いペースで活発な話し合いだった。
- チーム内で出てきた疑問や質問を、みんなで解決するための努力ができた。
- 小さなつぶやきも無視されず、おとなしい人にも発言しやすい雰囲気や声がかげができた。
- 誰かが話しているときは、話し手が不快になる態度や行動を取ることなく、一生懸命に理解しようとする努力ができた。

豊かな議論を実現する「スパイダー討論」

スパイダー討論を重ねることで、自分自身を客観的に見るできるようになります。同時に自己主張の強い生徒でも、「自分の意見だけがナンバーワンではないのだ」と気づいたり、エキスパート役を務めた生徒が、より客観的に、深く聞く力が身につくなど、それぞれの気づきがあります。一人ひとりの気づきと共に、豊かな議論ができるようになることが、スパイダー討論の目的です。



スパイダー討論の英語名である「SPIDER」は、Synergetic（相乗効果）、Practiced（練習し続ける）、Independent（自立した）、Developed（発展する）、Exploration（探究する）、Rubric（評価基準がある）の頭文字を取ったものです。



『最高の授業 スパイダー討論が教室を変える』

アレキسس・ウィギンズ著 吉田新一郎訳/新評論刊

生徒たちがクリティカルに思考し、協働し、主体的に話し合いを進める方法「スパイダー討論」の解説書。アクティブラーニングの理想的な方法論が説明されています。かえつ有明で4ヶ月間にわたって行った「スパイダー討論」は、日本での実践例として10ページにわたって紹介されています。

セルフラーニングセンター

キーワード **放課後の手厚い学習サポート**

教育支援企業の学習メンター®が、生徒一人ひとりの学習を応援するサポートシステム。

親しみやすい現役大学生が多様な学習支援を行います

「セルフラーニングセンター」は、生徒一人ひとりの主体的な学びを支援し、中学初期段階から苦手を積み残さず、日常的な学習習慣を身につけることを目的とした、放課後の自習室システムです。専門のトレーニングを受けた大学生スタッフの学習メンター®が常駐し、多様な学習支援を行います。現役の大学生だからこそできる具体的かつ詳細なアドバイスは、生徒に理解しやすく好評です。



セルフラーニングセンターで出来ること

- 宿題や授業の予習・復習など日々の学習支援
- 定期試験や模擬試験への対策や解き直し
- 検定対策講座
- 勉強法や学習計画のアドバイス
- メンタルサポート
- 大学受験対策
- 入試座談会や学部紹介などの進路イベント
- 高3対象パーソナルメンタープログラム

落ち着いて自習ができる・寄り添ってくれる人がいる・モチベーションがわく

自分のペースで自然に学びに向かうことができる環境です。生徒一人ひとりが快適に学習できる環境を選択できるように整えています。学力向上と主体的な学びの姿勢を育むために、今後もさまざまなサポートを行います。

一人で静かに集中して学びたい 集学習ルーム



共に学び合いたい、質問をしたい メンタールーム



月曜～金曜 15:30～19:30

土曜 13:30～19:30

入退室システムで管理します。下校時間は原則17:30ですが、ここの利用者は部活動の後でも19:30まで利用できます。教職員とのスムーズな連携のため、2階職員室の目の前に開設しています。

英語教育

キーワード 「語りたい気持ち」をかき立てる英語教育

本校の英語教育が目指すのは、コミュニケーションツールとしての英語力を身につけ、言語・文化・価値観の異なる様々な人と触れ合うことで視野を広げることです。そのために、授業では安心して自分の気持ちを伝えられる環境を大切にしています。「文法や単語が正しいか不安」「発音が間違っていたら恥ずかしい」などと思わずに英語を話せるのは、他者の学ぶ意欲を尊重し、お互いに高め合おうとする仲間がいるからです。この環境が「語りたい気持ち」をかき立て、英語力のステップアップにつながっていくのです。また、これまでの生活の中で高いスキルを有している人も、より実力を磨くことができます。レギュラー、アドバンスト、オナーズの3クラスを用意して、一人ひとりに合った授業を展開しているのが本校の強みです。

3つのレベル別授業

REGULAR ENGLISH CLASS

レギュラークラス

担当：日本人教員+ネイティブ教員

英語の「音」に慣れることからスタートし、まずは1つの単語だけでも自分が伝えたいことを相手に受け止めてもらえることを目指します。また、段階を追うごとに英語を「書く」ためのトレーニングも行います。授業の3分の1はネイティブの先生が担当しますが、日本人の先生がしっかり日本語でサポートしますので、英語に初めて触れる人でも安心して授業を受けることができます。



ADVANCED ENGLISH CLASS

アドバンストクラス

担当：ネイティブ教員+日本人教員

英語レベルの目安：英検2級以上

比較的短期間の海外滞在だった生徒をイメージしたレベルのクラスです。オナーズクラスに準じた内容で、ディスカッション、文法・語彙力強化など、基礎力をしっかり構築していきます。実力が高まり、後からオナーズクラスに移るケースも少なくありません。また、レギュラークラスで力をつけた生徒が進級時にアドバンストクラスに移るケースもあります。



HONORS ENGLISH CLASS

オナーズクラス

担当：ネイティブ教員

英語レベルの目安：英検準1級以上

比較的長く英語で学習してきた生徒が多いクラスです。多くのインプット・アウトプットを通して英語を「言葉」として使用することを大切にし、ディスカッションを多く行うことで英語によるコミュニケーションスキルを向上させます。高校卒業時には、TOEFL iBTで100点以上を目指します。



Language Arts

英語の語法・文法をはじめとして、エッセイライティング、ドラマ、ディベート、文学などの切り口で、言語技術を磨きます。欧米の学校で使われているテキストを使用して授業を進めます。

Philosophy

思考するプロセスをトレーニングするための授業で、基本の授業形態は「対話」です。テーマを設定し、教員がファシリテーターとなってディスカッションを進めます。評価にはルーブリックを用います。

グローバル教育を支える教員たち

本校のネイティブ教員の国籍は、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、フィリピンと様々です。同じ英語でも地域によって単語や発音などが異なるため、色々な国の英語を学べるのが強みになります。また、どの先生も本校での英語教育に豊富な経験を持ち、日本人教員と協力しながら主体的に授業を作り上げていくことに自信と誇りを持っています。一人ひとりの生徒が輝くための工夫に努力を惜しまないネイティブ教員による授業は、「もっと英語を話したい!」と思える時間です。



帰国生と共に学び成長できる環境

本校では海外在住経験のある帰国生が多く学んでおり、教室の中には日常的に英語を話す同年代の仲間がいます。そのことが日本を離れたことのない生徒にとっては大きなインパクトとなり、多様な価値観を育み、視野を広げます。その一方で、本校の生徒はバックグラウンドが異なる相手を理解し、尊重することを共有しているため、帰国生も安心して学校生活を送れます。

帰国生の主な滞在先と分布



帰国生数

368名

学年	帰国生数	学年	帰国生数
中学1年	53名	高校1年	58名
中学2年	56名	高校2年	85名
中学3年	54名	高校3年	62名

2023～2025年度入学生の滞在先は、北米が41%、アジアが32%、ヨーロッパが18%、オセアニアが5%、中南米が4%。国別で見ると、アメリカ、イギリス、中国、オーストラリア、カナダ、シンガポール、ドイツ、マレーシアの順でした。

国際交流プログラム

キーワード 海外生活を通して異文化を理解し成長する

高校修学旅行

全員参加

期間：8日間

高2の秋に実施される修学旅行では、オーセンティッククラスとトラディショナルクラスの生徒はイギリスでホームステイを行い、現地の家庭でイギリス文化に触れ、家族と英語でコミュニケーションを取る貴重な体験をします。また、現地の子どもたちとの文化交流や、ロンドンでの班別行動など、適度な緊張感の中で様々な挑戦をすることで、気づきや学びを得ることができます。新クラスは、生徒が自分たちで修学旅行を企画・運営します。「何を学ぶか」を考え、行き先を決定したり準備したりする過程で様々な議論や試行錯誤があり、その経験すべてが貴重な学びとなります。



サンディエゴ研修

希望制

期間：7日間



夏休みに中高の全生徒を対象に行います。カリフォルニア州・サンディエゴ市にある学校で同学年のバディ(担当する生徒)と同じ日課を送り、夜はホームステイ先のホストファミリーと過ごします。英語力の有無を問わず、バディのサポートを受けながら安心してアメリカの学校生活を体験できるのが特徴です。さらに、帰国前には周辺の観光地を巡り、楽しい思い出を作ります。

ケンブリッジ研修

希望制

期間：14日間



春休みに高校1・2年生を対象にイギリスのケンブリッジで実施。日中はベル・ケンブリッジ校で世界中から集まった仲間と共に英語を学び、夜はホームステイで現地の生活を体験します。街には大学の役割も兼ねた古い教会や魅力的な建造物などが数多くあり、行く先々が学びの宝庫です。週末は本校の教員と一緒に周辺の見どころやロンドンの観光地を巡る、充実したプログラムです。

中学修学旅行

全員参加

期間：6日間



中学3年生の修学旅行として、ベトナムで研修を行います。現地では、植民地時代からベトナム戦争、独立に至る歴史や、インフラ・経済発展の現状について学びます。また、現地の同世代の生徒と交流したり、市内を班別行動するなど、日本では味わえない海外ならではの貴重な体験を通して、視野を広げ、国際感覚を育むことができる機会となります。

インド研修

希望制

期間：7日間



夏休みに、高校1・2年生がインドを訪問して、ホームステイをしながら企業や高校などで文化交流をします。インドでは社会的で積極的に話しかけてくるような人が多いため、自然と英語で話す機会がたくさんあります。同じアジア人としての関係性を深めることもでき、急速に発展する国のエネルギーを体感しながら世界を身近に感じるプログラムです。

World Scholar's Cup

希望制

国内外での3大会



英語による議論・発表やクイズなどを通して教養を競うとともに、世界約40の国と地域の中高生との交流を通じて国際理解を深めます。国内大会で上位に入賞すると世界大会に参加する権利が得られ、そこで上位に入るとアメリカ・イェール大学で開催されるチャンピオン大会に参加することができます。世界の中高生と交流することで、視野も人脈も広がる魅力的な大会です。

ブリティッシュヒルズ研修

希望制

期間：3日間



夏休みに中学生を対象に、オールイングリッシュで行う宿泊研修です。福島県白河市の広大な敷地内にある「British Hills」は建築様式からインテリアまで中世の英国を再現した語学研修施設で、日本にいながらにして海外留学と同等の体験ができます。英語を使って料理やスポーツを楽しむなど、日常生活を非日常的な空間の中で味わえる喜びが、英語学習へのモチベーションを高めます。

MESSAGE

初めての海外での成長

修学旅行でイギリスを訪れ、ホームステイではホストファミリーと英語で会話し、食卓でフィッシュ&チップスなどの伝統料理を楽しみながら文化交流をしました。小学校訪問では実際の授業に参加し、現地の子どもたちと互いの文化を教え合いながら共に活動しました。積極的にコミュニケーションを取ることで新たな学びが生まれ、自ら行動する大切さを実感しました。



高校3年

MESSAGE

日本とは全く違うアメリカでの生活で

私はサンディエゴ研修で、初めての価値観や文化を体験しました。英語は学校でしか習ったことがなく、アメリカも初めて訪れたのですが、そこで日本と違った習慣などを目の当たりにしました。特に驚いたのは食文化です。何もかもがアメリカンサイズでワクワクしました。様々な経験を通して、世界には多種多様な文化があるのだと学ぶことができました。



高校2年

留学プログラム

キーワード 中高時代の海外生活が人生のアドバンテージに

留学は体験型の短期研修とは異なり、約6カ月から1年という長期にわたり海外で“生活”するものです。そのため、異文化や価値観、あるいは同世代の人たちの学び方の違いをじっくりと体感することができます。それは、改めて自分自身の生き方を見つめ直すためのチャンスと言っても過言ではありません。吸収力の高い中高時代に海外留学を経験することは、後の人生で大きなアドバンテージとなるでしょう。



Semester留学

期間 最大6ヶ月間

中学3年以降に選択できる、1学期間(最大6ヶ月間)の留学です。オーストラリアやニュージーランドなど提携先が増えて、ますます充実したプログラムになっています。留学中、本校の授業料は半額免除です。

提携校 Blackwood High School (オーストラリア) / Charles Campbell College (オーストラリア) / Heathfield High School (オーストラリア) / Norwood Morialta High School (オーストラリア) / Reynella East College (オーストラリア) / Otago Boy's High School (ニュージーランド) / St.Hilda's Collegiate School (ニュージーランド)

※提携校に限らず世界中の学校から選択することができます。



アカデミックイヤー留学

期間 1年間

高校1年以降に選択できる1年間の留学です。高校1年の夏から高校2年の夏までの1年間が、最も人気の期間です。帰国後は進級した状態で、本校での学習を再開することができます。留学中、本校の授業料は半額免除です。

留学フェア

複数の留学団体が、それぞれの概要、費用、安全面、留学のメリットを紹介。また生徒が体験談を語ることもあるため、留学の具体的なイメージを掴むことができます。帰国生の多い本校には留学に興味関心を持つ生徒がたくさんいることから、学校内に様々な留学エージェントを呼んで活発に留学の情報を交換しているのが特徴です。



MESSAGE

芸は身を助く 迷わず挑戦してみよう

私は高校1年生の時、半年間ニュージーランドの異文化の中に飛び込みました。言語の壁に戸惑いましたが、自分の趣味や得意なことを活かし挑戦することで、英語が完璧でなくても人と関わり、理解し合えることを実感しました。この経験から、かえつでも積極的に取り組む姿勢を大事にしています。



高校3年

海外大学進学サポート

キーワード 海外で学びを深めたい生徒を全力で支援

本校が大切にしているのは、生徒自身が進むべき道を模索し、切り拓いていくことです。その時の舞台となる場所は日本だけに留まりません。それぞれの学びを深められる環境は世界中に広がっており、推薦制度などを活用すれば海外大学進学は思ったよりも難しくありません。どうぞ世界に目を向けて羽ばたいてください。そのために本校の外国人スタッフを中心に、大学選びから必要な書類の準備、そして出願までサポートします。

利用できる2つのプログラム

01

デュアル・ディプロマ・プログラム

アメリカの高校の授業をオンラインで受講し、かえつでの単位と併せて、日米2つの高校卒業資格を得られるプログラムです。日米学術センター・日本旅行がサポートし、卒業後はアメリカの提携大学に推薦入学ができます。



02

海外大学推薦制度

かえつでの学びにしっかりと取り組み、学力・英語力が基準に達していれば、提携している海外大学に推薦入学できるプログラムです。通常の入学手続きを大幅にカットでき、また奨学金が得られるプログラムも充実しています。

推薦制度①

UPAA

本校が英語学習の際に導入している、Kaetsu English Online (KEO) に付随するプログラムです。アメリカ・イギリスの大学と提携しています。



推薦制度②

UPAS

近畿日本ツーリストの運営する推薦制度を導入しています。アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアの大学と提携しています。



海外大学合格情報

2023年度入試

- DePauw University
- Embry-Riddle Aeronautical University
- Lake Forest College

- Monash University Malaysia
- Queensland University of Technology
- Simon Fraser University
- Sydney University
- Temple University

- Universite Libre de Bruxelles
- University of Adelaide
- University of California, Davis
- University of Massachusetts-Amherst
- University of Western Australia

2024年度入試

- Beijing Foreign Studies University
- Lakeland University
- Michigan State University
- Minerva University
- Northeastern University

- Pennsylvania State University
- Santa Monica College
- Taylor's University
- University of California Davis
- University of California San Diego
- University of Debrecen

- University of Leeds
- University of Manchester
- University of Massachusetts Amherst
- University of Nebraska
- University of Pittsburgh
- University of Washington Seattle

2025年度入試

- Arizona State University
- Binghamton University
- Case Western Reserve University
- Eastern Florida State College
- Griffith University
- Grinnell College
- IE University
- Indiana University
- Indiana University Bloomington
- Leiden University
- McGill University

- Michigan State University
- Monash University
- Northeastern University
- Pennsylvania State University
- Pomona College
- San Jose State University
- Semmelweis University
- Stony Brook University
- Syracuse University
- Temple University
- Tulane University
- University of British Columbia
- University of California Riverside

- University of Central Arkansas
- University of Debrecen
- University of Illinois at Urbana-Champaign
- University of Manchester
- University of Massachusetts Amherst
- University of Minnesota Twin Cities
- University of New South Wales
- University of Pecs
- University of Sydney
- University of Szeged
- University of Toronto
- University of Washington

進路・進学

自分軸を確立する6年間のキャリア教育

本校のキャリア教育は、自分の人生を自分で掴み、創造的に生きるための準備です。自分を知ることからスタートし、自分の生きる地域社会を見つめ、さらに広い国際社会を知り、その中で自分はどのように生きるべきかを考える6年間。

中学 JUNIOR HIGH SCHOOL			高校 SENIOR HIGH SCHOOL		
1年	2年	3年	1年	2年	3年
導入期			発展期		
<p>学び合い・教え合いを大切にするため、学級編成はレベル別に分けません。 (英語は習熟度別授業)</p>			<p>高校では、学び方や進路実現の方法で3タイプのクラスが編成されます。 生徒の意欲を尊重し、面談をふまえて決めます。</p>		
<p>中学クラス 約34名×6クラス程度／一般生と帰国生の混合クラス</p>			<p>高校新クラス(1クラス程度) 高入生を加えて、授業・学校の枠を超えて主体的にプロジェクトを立ち上げ、対話しながら協働し深い学びを展開して、新しい価値観を創造するクラス</p>		
<p>オーセンティッククラス(2~3クラス) 主体的・対話的・深い学びを中心とし、自らが問いを立ててその問いを解決するために外部とも連携しながら、プロジェクト活動をする探究型のクラス</p>			<p>トラディショナルクラス(2~3クラス) 共に助け合いながら個の学問を地道に追究することで、高度な知識を習得し活用する力を身につけ、主に一般選抜入試により大学進学を目指すクラス</p>		
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分を知る。自分を表現する。 ■ 多様な進路を知る。 ■ 身近な地域社会を知る。 ■ 都市と地方の生活を知る。 ■ 日本の歴史・伝統を知る。 ■ 世界を知る。異文化を知る。 ■ 科学の視野を広げる。 ■ 大学を知る。 ■ キャリアデザインを組み立てる。 			<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分を見つめ直す。将来について考える。 ■ 自分にできる社会貢献を考える。 ■ 世界を知る。異文化を知る。 ■ 自らプロジェクトを立ち上げる。 ■ 学部・学科を研究し、高2で文理選択を行う。 ■ 第1志望を明確にして、受験準備を始める。 		
<p>実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分史の執筆 ■ 職業インタビュー・職場体験 ■ 職業の話を聴く会 ■ 命の大切さを学ぶ講演会 ■ 幼稚園実習 ■ 臨海地区フィールドワーク ■ 中1宿泊研修 ■ 中2関西研修旅行 ■ 北海道ファームステイ ■ 中3海外研修(準備中) ■ 中学・大学連携特別授業 ■ 卒業生・社会人との対話・講演会 ■ アカデミックデー ■ シアターラーニング ■ 寄席鑑賞会 ■ 有明四季劇場鑑賞会 ■ 東京グローバルゲートウェイ体験 			<p>実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 小論文の執筆 ■ 志望理由書の執筆 ■ 進路選択への適性検査 ■ 卒業生・社会人との対話・講演会 ■ アカデミックデー ■ 探究ゼミ ■ アントレプレナーシップ ■ 外部イベントへの参加 (キャリア甲子園・チャレンジカップ) ■ 高2イギリス修学旅行 ■ 進路ガイダンス ■ 学問・大学研究 ■ 大学研究レポート・プレゼンテーション ■ 大学入試の面接対策 ■ ナイスリラックス講習 ■ 卒業特別プログラム (ワークルール・スーツ着こなし講習) 		

PICK UP **かえつCo-Lab Day**

探究的な学習のアウトプットの場として、3学期に実施されます。プロジェクトの発表やワークショップ・対話会などを通じ、学びの世界を大きく広げる一日です。社会人のゲストや保護者・卒業生・地域の方々をお招きし、リアルな社会を肌で感じながら、学びを自分の中で再構築する“体験的な学びの場”を生徒主体で創りあげます。共に学びを深め、新たな価値を生み出す場です。



PICK UP **3タイプの高1宿泊研修**

クラスコンセプトに従い、高校1年で宿泊行事が予定されています。高校新クラスは、課題探究型学習とホームステイを通して自分らしい学び方を身につける、ケンブリッジ研修。オーセンティッククラスは、地域密着型プログラムを通して新たな自分と地域の未来について体験的に学びます。トラディショナルクラスは、チューターや友人との共感的な対話を通して自分を深く内省し将来像を確立します。



MESSAGE

「対話」を軸に、世界とつながる豊かな学び

教員の役割は、生徒が自身の内なる興味関心に気づき、主体的な一歩を踏み出すためのきっかけを作ることです。自分の可能性を信じ、失敗を恐れず挑戦するマインドを大切に育てていくために、「安心して学べる環境作り」に力を入れています。「自分はここにいいのだ」という安心感を持ち、他者を受け入れ、対話を重ねるところから、能動的な真の学びが始まります。未知なる世界に積極的に働きかけ、自らの手で豊かな人生を築いていける、逞しく、しなやかな力を育成できる学びの場を、教員も対話を重ねながら創り上げています。



教育部長 大木 理恵子

進路実現は「当たり前だけど大切なこと」の積み重ね

進路部と学年・教科が連携し、一人ひとりの学習状況を分析しながら希望進路実現に導きます。卒業生も後輩たちを支えます。鍵となるのは日々の積み重ね。学校全体がひとつになって、高い志望を叶えます。

PICK UP 放課後講習・長期休暇講習

高2は合否を分ける大学入試500日前を迎えます。放課後講習は高1の3学期に大学入試基本英文法講座から始まり、入試直前期までより高度な理解を得るため実施しています。現役予備校講師をはじめとする信頼と実績の講師陣が、担任や授業担当の先生と密な連絡をして、本校ならではの指導効果を相乗的に発揮しています。さらに夏期冬期春期直前講習は講座延べ数計500回を超えて実施されており、進学指導において自信の指導を展開しています。

曜日	学年	講座名	実施時間
月	高3	英語S	120分
	高3	英語D	120分
火	高2	現代文	90分
	高3	推薦・総合型文章講座(標準)	90分
水	高2	古典	90分
	高3	英語T	120分
木	高2	英語D	120分
	高3	現代文	90分
金	高3	理系物理	90分超
	高3	理系生物	90分
土	高3	推薦・総合型文章講座(上級)	120分
	高2	文理数学	90分
日	高3	入試数学演習	90分
	高2	英語S	120分
月	高2	英語D	90分
	高3	英語D	90分
火	高2	英語S	120分
	高3	英語D	90分
水	高2	英語D	90分
	高3	文系世界史	120分

PICK UP 探究ゼミ

総合型選抜入試に対応するため、現役大学生による対話型講座を開講しています。ただ合格を目指すのではなく、自分の人生と向き合い、目標に向けて自律的な自分を目指す場です。憧れの卒業生との対話は刺激的です。



PICK UP セルフラーニングセンター

生徒一人ひとりの主体的な学びを支援する、放課後の自習室システムです。教育支援企業の大学生スタッフの学習メンター®が常駐し、宿題フォローから大学受験まで多様な学習支援を行います。



PICK UP 勉強合宿

夏休みに、高1は3泊4日、高2は4泊5日、文系・理系やレベル別クラスに分かれて100分の講義を受け、夜は自学自習と質問を繰り返します。疑問点をその場で質問し理解できる環境です。



PICK UP 合格体験記

学習法、スランプの時期と対処法について具体的な体験談とふりかえり、高2の2学期から高3受験直前までに取り組んだ教科別の学習内容・方法やテキストを時系列に掲載しています。



MESSAGE

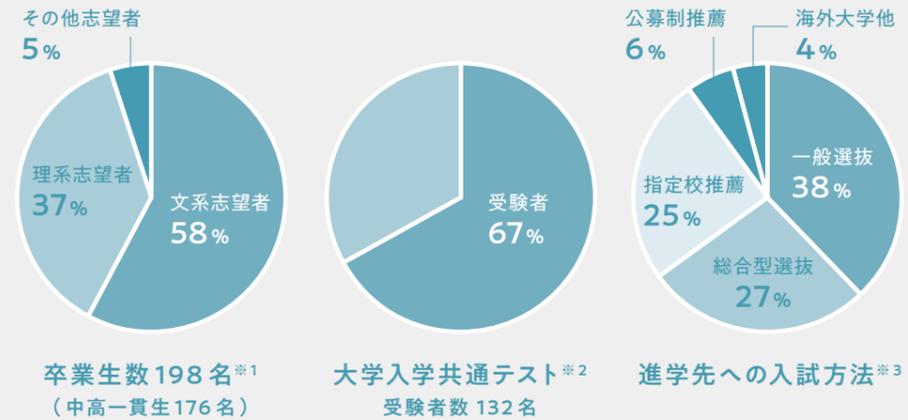
混迷の時代を生きる

高度経済成長期の日本人は、みなが同じものを見て、同じものに憧れ、共通の話で盛り上がりました。そして、競争社会で生き抜くために、まずは偏差値の高い日本の大学を目指し、高い地位に就き、多くのお金を稼ぐことが、人生の成功でした。人より優れていることに価値があり、みなが同じ方向を向いているので、自分の今日の行動も迷う必要はない。しかし、今は違います。良くも悪くも、多種多様な価値観を自由に表現できる今、変化の激しい未来を、長期的な視野に立ち、考え、情報収集を積極的に行い、周りからのプレッシャーに左右されず、自分自身を知ることが大切です。今も昔もやはりウサギではなく、自身と向き合うカメのような生き方です。



進路部長 福富 高彦

2025年 大学合格情報



※1:オーセンティッククラスとトラディショナルクラスは、高校2,3年で文系クラスと理系クラスに分かれます。
 ※2:放課後講習・長期休暇講習でも、共通テスト対策講座を開講しています。
 ※3:希望制の大学受験対策講座を開講しています。自習室もあり、進路指導室やラウンジでも、大学生や教員が個別フォローしています。TOEFL/SAT講座など、海外大学進学のための支援体制も整えてあります。

国公立大学への合格者数 6名

大学	計
東京大学	1
東京外国語大学	1
東京学芸大学	1
横浜国立大学	2
富山大学	1

医学部・歯学部・薬学部への合格者数 12名

大学	計
医学部	3
歯学部	4
薬学部	5

※ 既卒2含む

私立大学への合格者数 406名

大学	計
早稲田大学	18
慶應義塾大学	15
上智大学	15
東京理科大学	16
国際基督教大学	7
学習院大学	3
明治大学	16
青山学院大学	9
立教大学	13
中央大学	4
法政大学	18
関西学院大学	1
同志社大学	1
立命館大学	4
立命館アジア太平洋大学	7
成蹊大学	9
成城大学	2
明治学院大学	12
武蔵大学	6

大学 計

日本大学	17
専修大学	5
東洋大学	19
駒澤大学	4
國學院大学	7
順天堂大学	11
玉川大学	5
東京都市大学	3
芝浦工業大学	21
工学院大学	2
東京農業大学	3
東北医科薬科大学	1
獨協医科大学	2
女子美術大学	1
多摩美術大学	2
洗足学園音楽大学	1
東京女子大学	1
学習院女子大学	4

※ 既卒4含む

他、たくさんの合格者が出ています。

海外大学への合格者数 41名

大学	計
Arizona State University	1
Binghamton University	1
Case Western Reserve University	2
Eastern Florida State College	1
Griffith University	1
Grinnell College	1
IE University	1
Indiana University	1
Indiana University Bloomington	1
Leiden University	1
McGill University	1
Michigan State University	1
Monash University	1
Northeastern University	1
Pennsylvania State University	2

大学 計

Pomona College	1
San Jose State University	1
Semmelweis University	1
Stony Brook University	1
Syracuse University	1
Temple University	1
Tulane University	1
University of British Columbia	2
University of California Riverside	1
University of Central Arkansas	1
University of Debrecen	1
University of Illinois at Urbana-Champaign	1
University of Manchester	2
University of Massachusetts Amherst	1
University of Minnesota Twin Cities	1
University of New South Wales	1
University of Pecs	1
University of Sydney	1
University of Szeged	1
University of Toronto	2
University of Washington	1

※ 既卒10含む

学校推薦型選抜の指定校制推薦枠数(2025年入学)

大学	学部	推薦枠
東京理科大学	4学部	6名
国際基督教大学	1学部	1名
中央大学	1学部	1名
法政大学	10学部	15名
立命館アジア太平洋大学	2学部	2名

他、全国100大学以上から推薦枠を頂いています。

MESSAGE

from Graduate

卒業生からのメッセージ

かえつから世界へ、それぞれの場所で思い描く夢

2006年にかえつ有明中・高等学校が誕生してから19年。2025年春には中高一貫14期生の卒業式を迎えました。志を高く持ち、新しい教育を実践してきた若い学校ですが、在校生・卒業生の数だけ歴史があります。有明のキャンパスで、思い思いの学校生活を送った卒業生たち。フィールドワークで経験した密度の濃い時間、切磋琢磨しあった仲間たち、目標を持って切り開いた道。そして今、それぞれの場所で活躍し、思い描く夢——。後輩たちに伝えたい想いがたくさんあります。

無限の可能性をどう活かすか

私は海外経験がなく、ずっと日本の同じ環境で育ってきました。しかし、かえつ有明での友人（特に帰国生）たちとの出会いを通じて、自分の世界の狭さを痛感し、「もっと多くの世界を知りたい」という思いが芽生えました。それを胸に、高校では新クラスへ進学し、多くの活動を通じて様々な領域へ足を踏み入れました。高校1年次にはセメスター留学を通じて、中学時代に日常で培った英語力をさらに高めました。そして、レギュラークラスだった私も、高校卒業時にはオナーズクラスにまで成長することができました。かえつ有明は、生徒の挑戦を柔軟に支え、その可能性を広げてくれる学校です。同じ環境に身を置いていても、それをどう活かし、どれだけ成長できるかは自分次第です。周りの環境を最大限に吸収し、自分だけの体験を創り上げてください。

東京外国語大学 言語文化学部
竹廣 優希さん (2024年度卒業)

「怒るな働け」に学ぶ「挑戦する力が未来をつくる」

私は中学時代は赤点も何度も取りましたし、医学部に行けるほど優秀な生徒ではありませんでした。今の自分があるのは様々な進路プログラムで自分の夢を探す手助けをしてくれ、その上で足りない努力に気づかせ、努力を誉め伸ばしてくれたかえつ有明のおかげだと思っています。「怒るな働け」——嘉悦学園の校訓には不平・不満を抱くだけでなく、まずは一度自分で振り返り目標に向かって体当たりしてみろというメッセージがあります。在学時はこの言葉に支えられていました。現在私は研修医として働いています。医学部での座学と実際の現場では大きく異なり、毎日勉強の日々です。かえつ時代の努力し続けた自分があったからこそ、困難に直面した時も迷わず進むことができるのだと思います。是非「かえつっ子」となり自分の夢を見つけ挑戦してみてください。

日本医科大学付属病院 勤務 初期研修医 帝京大学 医学部卒業
富澤 路加さん (2017年度卒業)

自分の人間性を育てられる場所

私はかえつ有明での6年間で人間性を確立することができました。普段の学校生活では周りの友人と協力して励み合いながら学習し、先生方には主体的に学ぶことの大切さや能力を教わりました。6年間所属していたマーチングバンド部では、仲間と一つの目標に向かって努力するための心得を知ることができました。また、社会に出る際に必要な礼儀や、努力する人間としての姿勢などを部活動の顧問やコーチ、先輩方から学べました。このような社会で通用する能力を習得することができる学校の環境には、とても感謝しています。私は将来国際的に活躍できる人間になりたいと考えています。かえつ有明で得られた人間性を活かして、社会に貢献できるように努力していきたいと思っています。

横浜国立大学 経済学部
氣賀澤 慎之助さん (2024年度卒業)

今を輝くための土台を形成できる場所

中学1年生から、学級委員、文化祭の代議員、地域クラブチームのコーチ活動、ダンス世界大会出場、体育祭集団演技代表など。かえつ有明での6年間、やってみたい事はなんでも、何度でも挑戦できる環境を創り出してくれた先生方のおかげで、失敗を恐れず、むしろ失敗は楽しいと学びました。高校からのオーセンティッククラスでは、対話や発表を行う授業が多いため、大人数に自身の意思を伝える機会に恵まれました。そして、人の失敗や頑張りを笑わない、あたたかい空間を作るクラスメイトに囲まれた学校生活がかえつ有明の魅力で、かえつ生がプレゼン力に長けている理由であると思います。かえつ有明で培ったチャレンジスピリットを大学でも活かし、日々精進していきます。未来のかえつ生となるみなさんが輝く学校生活を送れること、心より応援しています！

慶應義塾大学 環境情報学部
大日方 颯花さん (2024年度卒業)

ONE DAY *at Kaetsu*

「語りたいことがたくさんある」かえつ生の1日

生徒たちの顔は「今日はどんな新しいことを学べるだろう」という期待に輝いています。放課後は部活に、体育祭や文化祭の準備に、講習に、そしてそれぞれが今、熱中できることに向かいます。



中学2年生

MESSAGE

とにかく楽しくて楽しくて
かえつの日常

朝、教室に着いたら、すぐに授業準備をします。朝の学活が終わると少し時間があるので、他のクラスの友達に朝の挨拶をしに行きます。午前の50分授業を4コマ終わると、楽しいランチタイムの時間！食べる場所は、屋上庭園・カフェテリアなど、その日の気分で自由を選ぶことができます。他のクラスの人も交流が持てるので、色々な人と関わる良い機会になっています。一日の授業が終わると、部活や自習の時間が始まります。私はサッカー部なので、広くて快適な人工芝グラウンドで、思いっきり体を動かして発散します。サッカー部はとても楽しいから、ぜひ入ってください！

8:15

登校



かえつ生は湾岸エリアに限らず、1時間以上かけて登校する生徒も少なくありません。7:30ごろから、自習や朝練習している生徒もいます。

8:35

午前



どの授業も「主体的に学ぶ」ということを軸に設計されています。新しいことを学ぶワクワク感が、創造的な学習の原動力です。

12:25

昼休み



持ち込んだお弁当や注文販売の日替わりお弁当、コンビニ自販機で買ったものを食べます。食後は、グラウンドでのびのびと。

13:10

午後



最後の最後まで集中!!水曜日の6限目は、学活・HRの時間。行事の準備に精を出す生徒や、さまざまなプロジェクト活動を行う生徒もいます。

15:30

部活動・講習



帰りの学活・HR、清掃が終わったら、いざ部活へ！放課後講習では大学受験対策講座を開講しています。セルフラーニングセンターで宿題に取り組み生徒も。

17:30

下校



原則17:30に下校します。生活目標の一つである「時間の厳守」を徹底しています。セルフラーニングセンターは、19:30まで利用できます。

SCHOOL LIFE

かえつ生の1日

ONE DAY

P. 24

学校行事

SCHOOL EVENTS

P. 25

クラブ紹介

CLUB ACTIVITIES

P. 27

施設紹介

SCHOOL FACILITIES

P. 29

制服紹介

UNIFORM

P. 31

■ 中学1年生 時間割例

	月	火	水	木	金	土
朝の学活						
1	英語	理科A	地理	OC	体育	理科A
2	国語	地理	英語	代数	幾何	幾何
3	保健	サイエンス	代数	美術	国語	英語
4	サイエンス	OC	地理	国語	地理	体育
昼休み						
5	理科B	英語	サイエンス	家庭	理科B	
6	代数	音楽	学級活動	家庭	国語	
帰りの学活・清掃						

■ 高校1年生 時間割例 (オーセンティッククラス)

	月	火	水	木	金	土
朝のHR						
1	論理表現I	物理基礎	生物基礎	論理表現I	数学A	プロジェクト
2	情報I	地理総合	数学I	現代国語	英コミュ	英コミュ
3	歴史総合	現代国語	体育	体育	地理総合	数学A
4	数学A	英コミュ	物理基礎	数学I	保健	情報I
昼休み						
5	数学I	言語文化	プロジェクト	英コミュ	生物基礎	
6	言語文化	歴史総合	LHR	言語文化	現代国語	
帰りのHR・清掃						



【10月】北海道ファームステイ(中3)

農村の民家に宿泊して、農作業や地域振興のお手伝いをします。大自然や現地の生活に触れることで、都市での生活を見つめ直します。



【10月】関西研修旅行(中2)

奈良・京都(・大阪)を訪れて、歴史的建造物を見学します。自主研修では、班ごとにテーマを設定した上でコースを決めて、京都の町を散策します。



【12月】芸術展覧会(高2)

美術・音楽・書道・芸術統合といった授業の表現の場です。校内いたるところで、魅力的なパフォーマンスが見られます。



【1月】合唱コンクール(中学)

クラスごとに曲を選定し、全員で心を合わせて練習に励み、本番に臨みます。

SCHOOL EVENTS

生徒主体の学校行事。係生徒を中心に生徒自ら企画・運営します。体育祭、伝統の集団演技は誰もが主役。成功だけではない。失敗からも学べる学校行事です。(中学3年で海外研修を計画中です。)

学校行事 かえつ生の思い出に残る「一番熱い日」

APRIL 4	MAY 5	JUNE 6	JULY 7	AUGUST 8	SEPTEMBER 9	OCTOBER 10	NOVEMBER 11	DECEMBER 12	JANUARY 1	FEBRUARY 2	MARCH 3
<ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション ・入学式 ・始業式 ・面談月間 ・授業参観 ・生徒総会 ・健康診断 ・保護者会 ・防災訓練 ・校外学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間試験 ・ケンブリッジ研修【高1新クラス】 ・中学特別授業【中学】 ・体育祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間 ・高校1・2年進路ガイダンス【高校】 ・海外大学進学説明会 ・保護者面談 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・終業式 ・インド研修【高校】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリティッシュヒルズ研修【中学】 ・高校1・2年勉強合宿【高校】 ・サンディエゴ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・文化祭 ・面談月間 ・防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念日 ・中間試験 ・中学1年宿泊研修 ・中学2年関西研修旅行 ・中学3年北海道ファームステイ【中学】 ・高校1年宿泊行事【高校オーセンティッククラス、トラディショナルクラス】 ・高校2年修学旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間 ・授業参観 ・保護者面談 ・高校1・2年進路ガイダンス【高校】 ・生徒会立会演説会選挙 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・終業式 ・芸術展覧会【高校2年】 	<ul style="list-style-type: none"> ・始業式 ・二十歳を祝う会【卒業生】 ・合唱コンクール【中学】 	<ul style="list-style-type: none"> ・かえつCo-Lab Day ・留学フェア ・高校送別会【高校】 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業式【高校】 ・期末試験 ・修了式 ・中学卒業式【中学】 ・ケンブリッジ研修(希望制)【高校】 ・高校2・3年春期講習【高校】



【4月】校外学習(全学年)

フィールドアスレチック、鎌倉自主研修、野菜の収穫や田植え体験など、校外で行う課題解決型行事。チームビルディングを通じて親睦を深めます。



【5月】体育祭(中学/高校)

高3生による集団演技、男子の「白波風」と女子の「響」は伝統です。年々進化する最高学年の演技に、会場は感動に包まれます。



【9月】文化祭(中1~高2)

学習や部活動の発表の他、中学は催事、高校は模擬店を行います。生徒主体の熱気に満ちた行事です。受験生や地域の方々もたくさん来校されます。



【10月】高校修学旅行(高2)

訪問地はイギリス。綿密な事前学習を行い、現地では歴史を目の当たりにし、文化を堪能します。訪れる街の学生との交流も楽しみです。

CLUB ACTIVITIES

部活動紹介

部活動の規定(抜粋)

生徒個人の活動日と活動時間については次の通りとする。

- 原則として平日(月曜日～金曜日、祝祭日及び休校日を含む)は3日を限度とし活動時間は2時間程度とする。
- 原則として土曜日・日曜日は1日を限度とし活動時間は3時間程度とする。
- 長期休業中の活動時間については土曜日・日曜日に準じる(3時間程度)。
- 定期試験期間中及び定期試験1週間前からの活動は行わない。

MESSAGE



仲の良いサッカー部

サッカー部は、人工芝のグラウンドなど環境が整っており、部員の数も多いので仲間と共に技術を成長させることができます。顧問の先生と外部のコーチが丁寧に教えてくれます。上下関係がなく先輩や後輩とも仲良くなれます。部活の時間はもちろん、部活以外の時間も仲良くできるというのも魅力です。仲間と一緒に戦うチームメイトであり、ポジションを争うライバルなので、切磋琢磨しながら全力で取り組みます。

サッカー部 (中学3年生)



喜びや達成感を仲間と共に

私にとってダンス部は、私自身が成長できる場であり、毎日の学校生活をより豊かにしてくれる場です。私はダンス未経験で入部したため悔しい思いをしたこともありますが、日々練習を重ねることで少しずつ格好良く踊れるようになってきました。また、協調性や自己表現力も養うことができます。そして何より、ダンスでたくさんの人たちを笑顔にできた時の喜びや達成感を、仲間と共に味わえることが、ダンス部の醍醐味です！

ダンス部 (中学3年生)



サッカー部

山岳部

卓球部

マーチングバンド部

バスケットボール部

バドミントン部

剣道部

バントワリング部

バレーボール部

ダンス部

演劇部

音楽部

進路進学

日本文化部(茶道・華曲・将棋)

文芸部(かるた部)

調理部

陸上競技部

放送部

合唱部

科学部

スクールライフ

アート部

ミュージカル部

水泳同好会
活動日: 月曜、木曜
活動場所: 有明スポーツセンター

ESS同好会

硬式テニス部

女子サッカー同好会

フットサル同好会

インフォメーション



New!!
2024年3月 アーツセンターが完成!!

BLOOM

表現を通して、自己を深め広げる

教科によって人が集まるのではなく、用途によって人が集まる空間です。その時々を生徒の活動に応じて変化していきますので、開放された風通しのいい空間で、さまざまな授業や課外活動の自己表現を楽しんでください。



SCHOOL FACILITIES

施設紹介 未来はここからはじまる



グラウンド

人工芝のサッカーグラウンド。ひざや腰への負担を軽減する素材を使用しています。体育祭もこのグラウンドで行います。



ウェルネスセンター

保健室とカウンセリングルームを統合した、心と身体の健康をトータルで支える場です。生徒のみならず保護者も安心して相談できます。



ドルフィン

図書館は、生徒が知識の海原を泳ぐ様子をイメージして「ドルフィン」と呼ばれます。約5万冊の蔵書が好奇心を刺激します。



屋上庭園

臨海地区の風景が一望できる屋上庭園。卒業生がこの場所にタイムカプセルを格納して、20年後に開ける予定です。



和室

量の香りに癒やされる和室。日本文化部や文芸部(かるた部)が利用しています。



コンビニ自販機

ドリンク・軽食(パン・おにぎり等)などを販売します。健康的な日替わりお弁当のネット注文販売もあります。



体育館

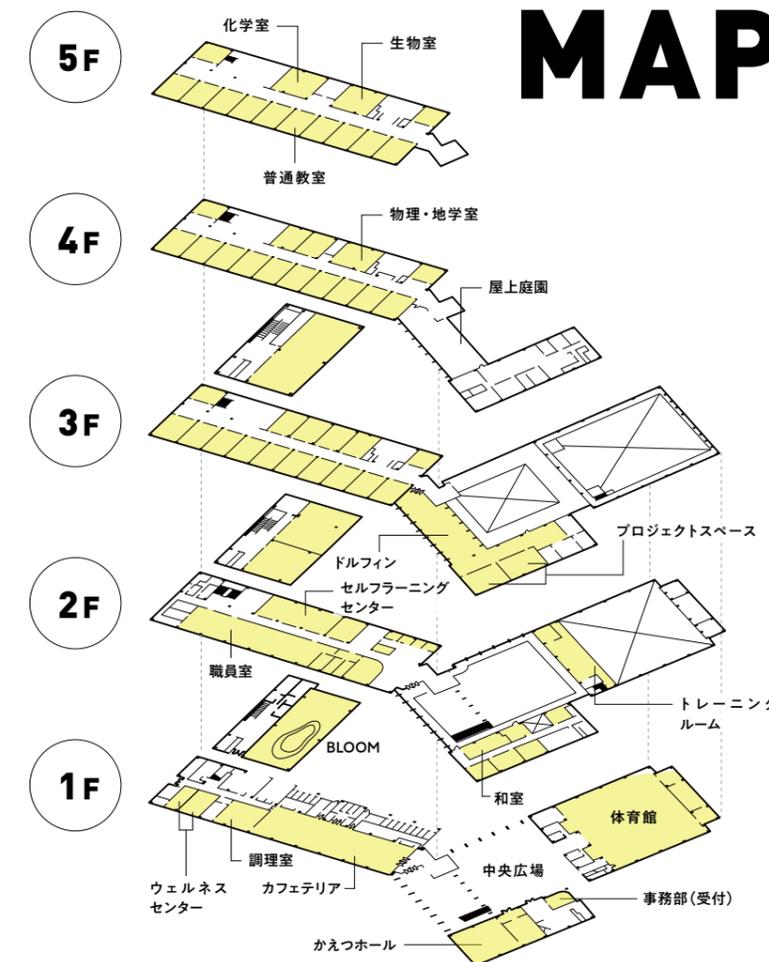
1200名収容できる体育館。1階はバスケットコートが2面取れる広さ。2階は柔道の授業で60帖分の畳を敷ける広さがあります。



テニスコート

2面あります。休み時間には、生徒たちが思い思いに時間を過ごしています。放課後には、硬式テニス部が活動しています。

かえつ有明のキャンパスは、一時期は東雲飛行場として使用されていた、固い地盤の上に建っています。コンセプトは「環境に配慮したエコスクール」。雨水や地中冷熱など、自然の力を利用する仕組みを取り入れています。東京23区の学校としては、明るく広い開放的なキャンパスです。





DETAIL



ズボンスタイル

アクティブなかえつ生の象徴です。選択アイテムに、グレーのスラックスもあります。

スカートスタイル

中学生は、青のライン。大きな幅のプリーツスカートで活動の幅を広げます。

UNIFORM

制服紹介 活動的な学校生活を過ごすために

かえつ生の日常はアクティブです。自由な発想で自己表現をするために、カジュアルなスタイルも揃えました。夏・冬の区別なく、アイテムを自由にコーディネートできます。メンズブランド TAKEO KIKUCHI のクリエイティブディレクター、菊池武夫氏のデザインです。

DETAIL



セーター

秋冬に活躍するウールのセーター。

ベスト

寒暖の差が大きい季節に活躍するベスト。



ポロシャツ

白と紺色が選べるポロシャツ。通気性が良く、夏の定番スタイルになっています。



ジャージ

2026年度からリニューアル(デザイン変更の可能性あり)。シューズは体育館用とグラウンド用の2種類あります。



パーカー

かえつ生に人気のグレーのパーカー。着回しがきくので1年中活躍します。



INFORMATION

[学園情報]

立地の安全性について

東雲駅前は海拔3mほどあり、さらに本校の校地は海拔6mほどの高さにあります。また、東京臨海広域防災公園に隣接し、災害時の対策本部から支援が受けやすい環境です。東京臨海広域防災公園は、首都直下地震等の大規模な災害発生時に、「災害現地対策本部」等が設置され、東扇島地区(川崎市)の物流コントロールセンターと一体的に機能する防災拠点施設です。

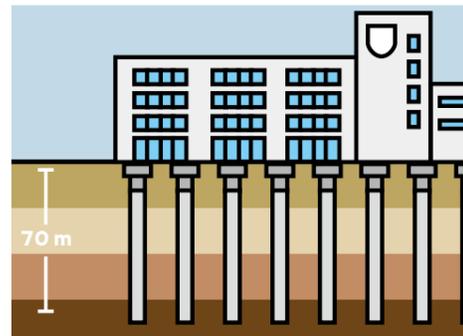


校舎の安全性について

かえつ有明中・高等学校の敷地は、古くからの埋め立て地で、一時期は東雲飛行場(1980(昭和55)年閉鎖)としても使用されていた土地であるため、地盤は固くしっかりとしています。その硬い地盤の下、深さ70mにあるさらに固い地層まで基礎杭を何本も打ち込み、その上に校舎が建てられています。(通常の建物の場合、杭の深さは30m程度)

参考例：体育館天井の耐震性について

本校の体育館は、平成15年10月に国土交通省より発信された「大規模空間を持つ建物の天井の崩落対策について」に基づき、耐震性を考えて作られています。体育館を施工された鹿島建設株式会社によって計画され、施工されました。



災害時の対策について

地震や火災、有事の際、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが重要です。そのためには、みなさんが災害について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から災害に対する正しい心構えを身につけておくことが大切です。独自の防災マニュアルをもとに、年2回、防災訓練を行っています。

災害時被災報告システム『CoCoねっと』

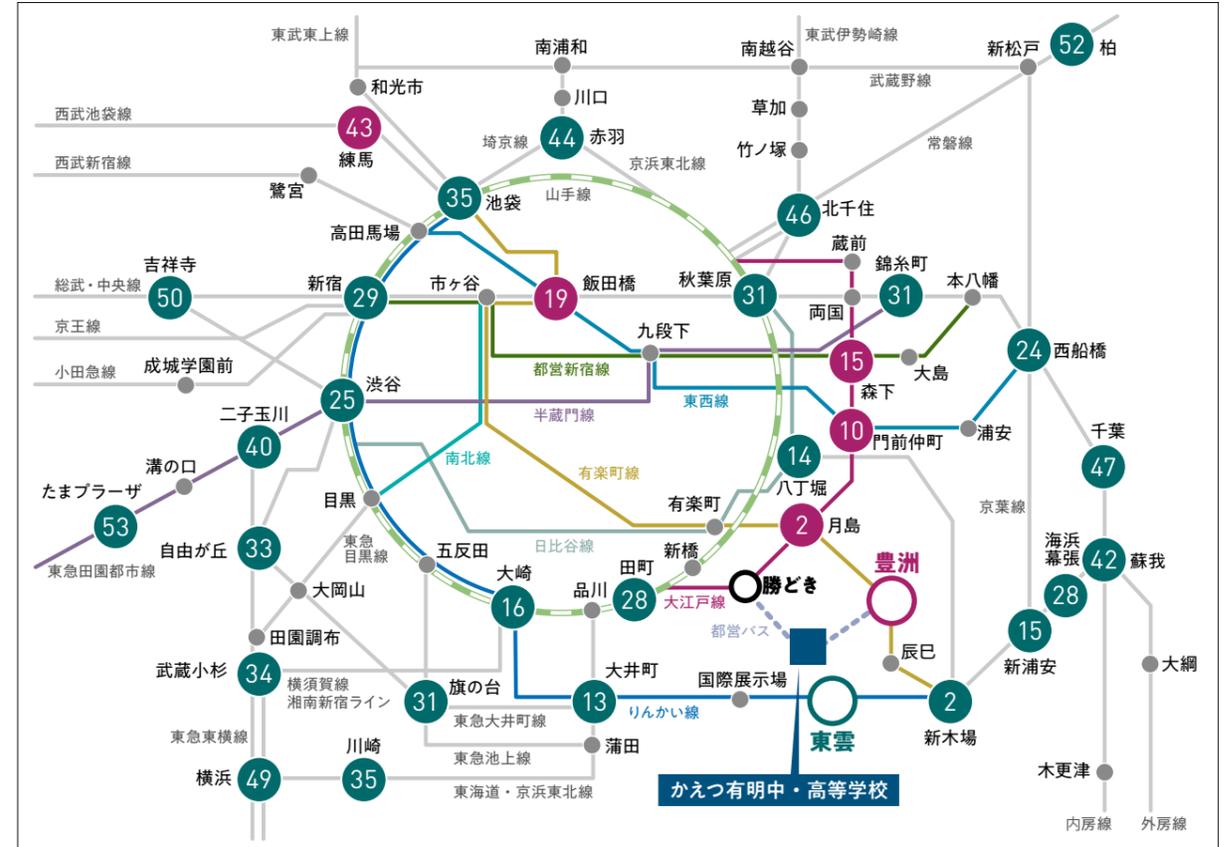
平常時は、生徒と保護者宛てに学校便りやお知らせなど必要な情報を、メール(アカウント配布)で一斉配信しております。災害発生時に、生徒との連絡が取れる学校専用のネットワークとして、NPO法人口イズ(東京都品川区)が提供する「災害時被災報告システム」を導入し運用しております。携帯電話が繋がらない、携帯メールが遅延する状況においても、学校専用のサイトに直接情報を登録することで、生徒・保護者・学校の間で情報を登録・確認することができます。保護者が、インターネットのサイトでその情報を見て、返信を直接サーバーに書き込むことができます。また、生徒が、学校外で被災した場合は、生徒と保護者間で連絡を取り合える伝言板機能を有しています。本システムは、学校専用のサイトで利用者制限をしており、インターネットに接続できれば、確実に情報を登録・確認できる体制を整えています。本人が携帯電話を持っていない場合、避難所などのパソコンや他の人の携帯電話を使って、「災害時被災報告CoCoねっとカード」に記載されているアドレスにログインして利用することができます。このカードを生徒・保護者が常時携帯することで、様々な「まさか」の事態に備えることができます。



お預かりするお子様の安心・安全対策として

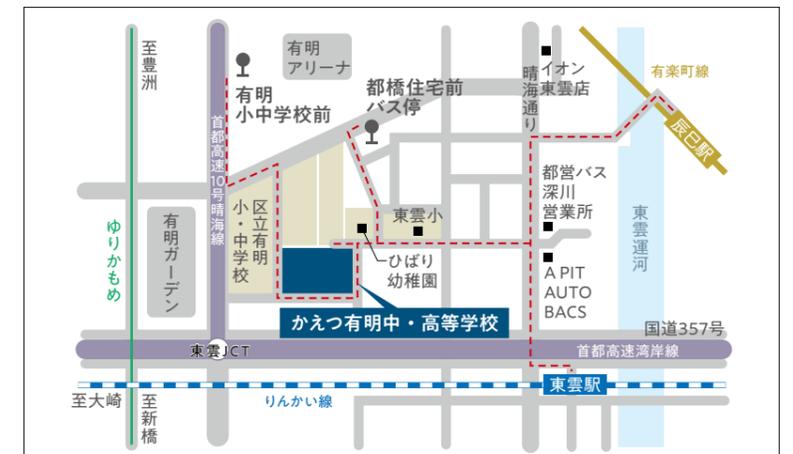
東京都が指定する災害避難地区、臨海副都心に位置するキャンパスは、病院や避難施設が近くにある安全な環境です。「学校が一番安全な場所」となるために、さまざまな安全対策を行っています。

交通案内



- 最寄り駅は「東雲」駅となります。「東雲」駅利用の場合は「●」、「豊洲」駅利用の場合は「●」で駅を表記しております。
- 所要時間は、ジョルダン乗り換え案内にて8:00目的地到着の条件で調査しております。
- 「豊洲」駅から本校の最寄りバス停「都橋住宅前」まで都営バスで約8分です。

- りんかい線「東雲」駅より徒歩約8分
- 有楽町線「豊洲」駅より都営バス(東16(海01))「都橋住宅前」バス停下車徒歩約2分
 (東16) 東京駅八重洲口発 月島・豊洲経由台場方面行き
 (海01) 門前仲町駅発 越中島・豊洲経由台場方面行き
- 大江戸線「勝どき」駅より(都05-2)「有明小中学校前」バス停下車徒歩約3分
 (都05-2) 東京駅丸の内南口発 勝どき駅前経由 東京ビッグサイト方面行き
- 有楽町線「辰巳」駅より徒歩約18分



QUESTIONS AND ANSWERS

[よくある質問]

充実した学校生活を送るために

どこよりも長い時間を過ごす学校だから、通学のこと、ランチのこと、部活動のことなど、気になることがたくさんあります。学校説明会などで問い合わせの多いQ&Aをまとめました。

Q. クラス編成はどのような形で行われていますか？

中学ではどのクラスも性別、成績等の偏りがないように編成されます。原則帰国生と一緒にになります。高1では高校からの入学生も入る新クラス、トラディショナルクラス、オーセンティッククラスと学び方のスタイルで3つに分かれます。本人の意思を尊重し、成績や面談をふまえて決まります。クラスの在籍者数は全校平均34人程度です。各学年6クラス程度です。

Q. 習熟度別授業は行われていますか？

英語の授業は、HRクラスを解いてオナーズ、アドバンスト、レギュラークラスの3クラスに分かれます。通年で授業が実施され、クラスアップには進級前に成績・試験・面接等の審査があります。習熟度に応じたきめ細かい指導を行っています。

Q. 部活動は熱心ですか？

多くの生徒が入部し、放課後も熱心に活動をしています。授業やクラスでは体験できないことも多くあり、部活動を通して様々なことを学ぶことができます。文化部を中心に、2つの部を掛け持ちしている生徒もいます。中1生は4月の2週目から5月GWあたりまで体験入部期間ですので、いろんな部を体験して、ゆっくり選ぶことができます。

Q. 学習フォローはありますか？

放課後には定期試験前後を中心に、教科担当者による希望制や指名制の講習・補習が開かれています。中学は、成績や課題の提出状況をふまえて、個別・少人数でフォローしています。高校は、高1の3学期から開講される放課後講習・長期休暇講習で、大学入試に備える生徒が多いです。

Q. お昼ごはんにはお弁当の持ち込みが必要ですか？

カフェテリアのコンビニ自販機(ファミリーマート)では、おにぎり・パン・スイーツや、ドリンクを購入することができます。電子マネーの利用もできます。玉子屋の健康的な日替わりお弁当のネット注文も可能です。ご自宅周辺で購入して持ち込むこともできます。



Q. スマホやタブレットは使用できますか？

スマホ(携帯電話)の所持・使用について、学校のルールやその場にふさわしいマナーを守ることを条件に認めています。また、学習ツールとしてタブレット・ノートPCを授業や家庭学習で使用しています。BYOD(Bring Your Own Device)を進めていますので、デバイスの準備をご家庭でお願いしています。入学前の新入生ガイダンスでは、おすすめのものをご案内しています。

Q. 自転車通学は可能ですか？

保険加入など、年度の初めに届出が必要で、その後自転車講習会を受講し、自転車には学校から発行される専用のステッカーを貼ることが条件です。ただし、学校からの距離がおおむね2km以内であれば徒歩で登校するようお願いしています。また、中学生のうちは登下校時のトラブル等、安全面での心配もあり、電車やバスなどの公共交通機関の利用をおすすめします。

Q. 防災についてはどのように対策していますか？

本校は臨海エリアでは地盤が固く標高が高いところにあります。緊急時は3日間生活できる飲料水・食料・ブランケットなど生徒全員分の防災用品を備蓄しております。独自の防災マニュアルをもとに、地震や津波、火災を想定した防災訓練を年2回実施しています。

この他にも、気になることは、本校広報室までお問い合わせください。

ENTRANCE EXAMS

[入試情報]

2026年度 中学入試

	試験名称	2月1日(日)		2月2日(月)		2月3日(火)
		午前	午後	午前	午後	午後
2科・4科入試	試験名称	2科・4科入試	特待入試		特待入試	特待入試
	科目	2科・4科	2科・4科*		2科・4科*	2科・4科*
思考力入試	試験名称	思考力特待入試				アクティブラーニング 思考力特待入試
	科目	個人探究				グループワーク
英語入試	試験名称			Honors / Advanced 入試		
	科目			英語筆記・英語作文 英語ペアワーク・日本語作文		

*4科選択者は特待合格と一般合格、2科選択者は一般合格の可能性がります。

2026年度 帰国生中学入試

	試験名称	11月20日(木) 午前	12月7日(日) 午前
		帰国生 Honors / Advanced 選考①	帰国生 Honors / Advanced 選考②
Honors / Advanced 選考	難易度	英検準1級~2級程度	英検準1級~2級程度
	科目	英語筆記・英語作文 英語ペアワーク・日本語作文	英語筆記・英語作文 英語ペアワーク・日本語作文
Regular 選考	試験名称	11月20日(木) 午後 帰国生 Regular 選考	
	科目	国語・算数	

Regular選考で合格された場合、英語の授業は一般的なレベルのクラスでの受講になります。

中学学費及び諸経費(2025年度参考)

入学時かかる費用について

入学金	250,000円
後援会入会金	5,000円
入学諸費	35,000円
合計	290,000円

入学後、毎月かかる費用について
(毎月指定口座より引き落とし)

授業料	41,000円
設備費	14,000円
環境衛生費	9,000円
積立金(自習室・教材など教育充実費)	11,500円
宿泊行事及び修学旅行積立金	11,000円
後援会費	2,000円
生徒会費	1,000円
合計	89,500円

制服・体操用品の費用について
(必ず購入するアイテム)

制服一式	男子	60,280円
	女子	スカート選択 61,765円 チノパン選択 58,080円
体操用品一式	共通	29,695円

Advanced / Honors英語授業は
別途下記学費が発生します

英語特別指導費用(月額)	10,000円
--------------	---------

正式な募集要項については、本校ホームページ「2026年度募集要項」をご覧ください。